

令和7年度 1学期末 教職員アンケート

	4 そう思う 当てはまる 2 あまりそう思わない あまり当てはまらない	3 ややそう思う やや当てはまる 1 そう思わない 当てはまらない	4	3	2	1
生徒（子どもたち）は学校生活を楽しく過ごせている			63%	38%	0%	0%
学校での生徒の人間関係は良好である			50%	38%	13%	0%
学校生活は落ち着いている（学校全体の雰囲気はよいと思う）			63%	38%	0%	0%
生徒の家庭学習は定着している			17%	17%	50%	17%
生徒は校内で自分から積極的に挨拶ができている			25%	63%	13%	0%
生徒は顔を見て「あいさつ」ができている			13%	75%	13%	0%
生徒の顔を見て積極的な「あいさつ」をしている。			63%	25%	13%	0%
毎週1回（計画されている週）、「人間関係づくりプログラム」を実施した			83%	0%	0%	17%
「いじめ」のない学級・学年づくりに取り組んでいる			83%	17%	0%	0%
「いじめは、絶対にいけないこと」「いじめにつながる冷やかし・からかいもいけないこと」を指導している。			75%	13%	13%	0%
生徒の小さな変化を敏感に感じ、積極的にコミュニケーションを図ったり、学年（縦）や分掌（横）との報告・連絡・相談を確実に行ったりしている			75%	25%	0%	0%
校内の環境美化や整理に積極的に取り組んでいる			63%	38%	0%	0%
行事や活動は生徒にとって楽しく充実したものになっている ※生徒の活躍の場や自分たちで企画し判断・行動する機会を作っている			50%	50%	0%	0%
学習や活動を通して、生徒の「ふるさと大山を愛する気持ち」「大山に貢献する気持ち」の向上を図ることができた。			43%	43%	14%	0%
生徒の健康や安全管理に適切に取り組むことができている			71%	29%	0%	0%
生徒の規範となる行動を心掛けている			75%	25%	0%	0%
授業規律の指導に取り組んでいる			75%	25%	0%	0%
1時間完結型（「めあて」と「振り返り」のある授業）ができている			29%	71%	0%	0%
板書の構造化、板書とノートの一体化を考えた板書に取り組んでいる			57%	29%	14%	0%
生徒指導の3機能を意識した授業を行っている			71%	29%	0%	0%
教科の特性に応じた有効な家庭学習方法について、授業で指導し実態に応じて課題を工夫している			57%	29%	14%	0%
問題解決的な展開の授業において、自分の考えを整理し、根拠をもって広げる場を、小単元に1回以上設定した			86%	0%	14%	0%
授業では、タブレットを活用して得た情報や友人との意見交換から、生徒が自己の考えを持つ場面を設定した。			57%	29%	14%	0%

授業や生徒会活動で、自己の考えを伝えたり発表したりする場を設定した。	71%	29%	0%	0%
自己判断力・自己表現力の向上に向けて、家庭と連携して取り組めた。 ※「キャリア・ノート」コメント記入の取り組み等	67%	33%	0%	0%
2週間に1回、問題データベースやキュビナを使った単元テストを実施した（5教科）	60%	40%	0%	0%
毎日の短学活に「対話」させる場面を位置付けた（学年部）	100%	0%	0%	0%
家庭学習について、改善に向けた個別指導を行った。	67%	0%	33%	0%
チームの取り組みとして、通信を使って保護者に啓発や協力依頼を行った	29%	29%	29%	14%
SNSに関する指導を行った。	57%	43%	0%	0%
学校は家庭や地域への連絡や情報提供を適切に行っている ※学校だより、学級通信、配信メール、学校ホームページなど	38%	50%	13%	0%
育友会活動や、保護者・地域との連携した活動に積極的に取り組めている	50%	50%	0%	0%
教職員は協力して教育活動に取り組んでいる	88%	13%	0%	0%
目標退勤時間（生徒下校後60分）に対応した、1日のタイムスケジュールを立てている	25%	63%	13%	0%
効果的、効率的な働き方に努めた結果、「時間外勤務時間が短縮した」と感じる	25%	38%	38%	0%